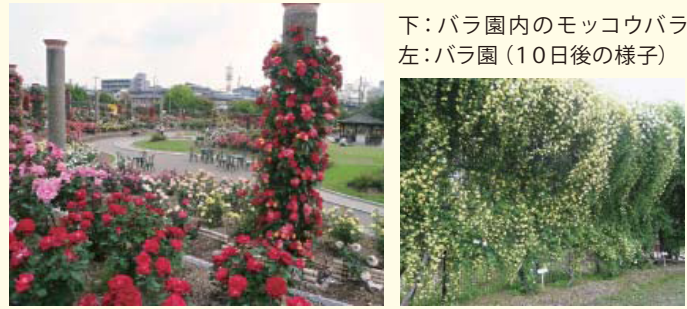


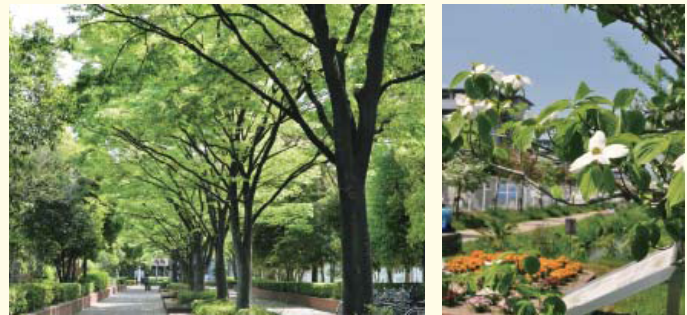
ぶらり散歩4

風薫る5月のある日。若葉がきらきらと輝き、色とりどりの花があちこちで咲き始める、そんな美しい風景を眺めてみたいと思い立ち、散歩に出かけてみました。

若園公園バラ園から溝咋神社まで、楽しみながらゆっくりと歩きました。



下：バラ園内のモッコウバラ
左：バラ園（10日後の様子）



若園公園の並木道

「花・水・木の小径」のハナミズキ

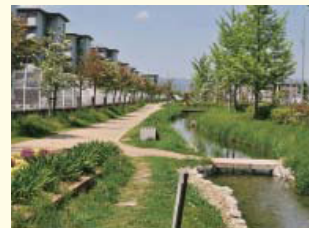


さわやかな午後、若園公園バラ園にやってきました。いつもの年ならたくさんのバラであふれている美しい花園が、今年は寒い日が続いたせいか、まだほとんどがつぼみです。その中でモッコウバラが一足先に花を咲かせています。あと10日ほどしたらもう一度バラ園に来ることにしましょう。

バラ園を出ると、近くのテニスコートからボールを打つ音が聞こえてきました。公園やグラウンドでは家族連れが楽しそうに声をあげて遊んでいます。

新緑の並木道を通り、バス停のある道路に出てきました。ここから東へと歩きましょう。

北摂つばさ高校の角を北に曲がると府道茨木寝屋川線沿いに、遊歩道「花・水・木の小径」があります。そばには小川も流れています。



「花・水・木の小径」
左：遊歩道と小川
左下：パンジー
下：小川の橋上のカモ



「花・水・木の小径」は、神安土地改良区が管理していますが、日常の草取りなど細かい作業は、地域のボランティア「花・水・木の小径会」のみなさんが中心に行っているそうです。今はハナミズキはもちろん、色とりどりのパンジーが咲いています。よく見ると、ほかにもいろいろな花が植えられています。あと何日かすると、アヤメやハスも花をつけるのでしょうか。その時期になるとカメラを手にした人たちが幾人も訪れるそうですよ。小川にはカモやコイが気持ち良さそうに泳いでいます。この小川は十丁水路という農業用水路が生まれ変わったものだそうで、今では花と緑に囲まれた水辺の空間として、地域の人々に親しまれているそうです。



自動車教習所の近くまでやってきました。横断歩道を渡り北へ進むと桑田公園が見えてきます。公園にはさまざまな遊具があり、休日にはたくさんの親子連れが楽しい時間を過ごすとのこと。また、ここには飲料水兼消防用耐震性貯水槽が設置されており、緊急時には市民のための飲料水の確保や消防用に使用されるのだそうです。こんなところに防災設備があるとは知りませんでした。

桑田公園から東へしばらく歩くと溝咋神社に着きます。この神社は延喜式内社で、茨木市では一番歴史の古い神社だそうです。石造りの鳥居をくぐり、松の木が並ぶ参道を通って社殿で参拝。静寂が心を落ち着かせてくれます。5月の光と風の中、木々の緑や花、水辺の鳥に癒されて、最後に神社で心を清められた散歩でした。

上：桑田公園 下：溝咋神社
2011.8「茨木市生涯学習だより」

日頃から備えておこう！

～災害から身を守るために～

いつ起こってもおかしくない巨大地震。毎年、各地に甚大な被害をもたらす集中豪雨。これらの自然災害に備えるために、私たちは日頃からどのような準備をしておけばよいのでしょうか。また、災害時、どのような対応をすればよいのでしょうか。危機管理課で話を聞いてきました。

地震や集中豪雨などに備えて日頃からできること

■住居の補強、家具類の固定

茨木市では地震防災マップを各家庭に配布しています。その中の「わが家の耐震診断」で家の安全性をチェックしてみてください。該当する場合は専門家による耐震診断をお勧めします。費用の補助制度もありますので、一度まちづくり支援課にお問い合わせください。また、家具の固定も忘れずに。

■非常持出品の用意

茨木市が配布している防災ハンドブックに、非常持出品リストがはさんであります。そのリストを参考に、家族構成に合わせて持出品を用意しましょう。ちなみに阪神・淡路大震災では、必要なものとして第1位が水、第2位が懐中電灯、第3位がラジオでした。そのほか、食料品、貴重品、医薬品、衣類、生活用品なども準備しておきましょう。

■避難場所、避難ルートの確認

茨木市には75か所の避難所があります。防災ハンドブックに場所と地図を掲載していますので、自宅から最寄りの避難所まで歩いてみて、古いブロック塀など倒壊するものはないか、水があふれるような水路はないかなどを確認し、最も安全なルートを見つけてください。家族でも避難場所やルートなどの話し合いをしておきましょう。

災害が起こったときにすべきこと

■地震が起こったら

まずは丈夫なテーブルの下などで身を守りましょう。コンロやストーブの火は、最近では自動で止まる装置が付いているので揺れが止まってから確認にいくこと。本震がおさまったら窓や戸を開けて出口を確保すること。ラジオなどで正確な情報をキャッチし、避難するときはガスの元栓、電気のブレーカーを切り、足もとや頭上に注意して必ず歩いていくこと。万が一閉じ込められた場合は、身近にあるものをたたいたり声をあげたりして外部に知らせましょう。

■集中豪雨がきたら

雨が降り出す前に天気予報で状況を確認し、降り出したら河川や用水路に近づかないこと。サイレンの音や市・消防・警察の広報車両からの呼びかけに注意し、避難時は運動靴（長靴はだめ）をはき、棒でつつくなどして水路やマンホールに落ちないように気をつけましょう。夜間の避難は懐中電灯が必要です。また、地下街などは水が流れ込むおそれがあるので、地上の安全な場所へ避難しましょう。

茨木市が防災対策していること

■防災意識の啓発

防災意識を高めるために、地震防災マップや防災ハンドブックなどを各家庭に配布しています。紛失した場合や転居してきた人には危機管理課でお渡しします。

■災害用備蓄品

市内10か所の小・中学校の災害用備蓄倉庫には、毛布、食料品、医薬品などが用意されています。災害時には救急救護所も開設します。飲料水兼用貯水槽は中央公園、若園公園など9か所の公園に設置されています。

■防災訓練

今年5月に集中豪雨対策訓練が西河原公園で行われました。8月には総合防災訓練が中央公園グラウンドで、来年1月には市民震災訓練が各地区の小学校やコミュニティセンターで開催されます。

■自主防災組織の推進

「自分たちの地域は自分たちで守ろう」と、地域住民が自主的に連帯して災害活動を行います。32の小学校区で現在、23の自主防災組織があります。平常時は防災訓練を行い、災害時には初期消火、救出・救護、避難誘導や避難所での給食・給水などの活動を行います。

■安否確認名簿の登録

大災害時に安否確認をする場合の資料として、登録者の名簿を作成して所在を把握しておきます。登録対象者の条件など詳しいことは危機管理課にお問い合わせください。



非常持出品は
用意できていますか？